

風はPLCから

平成 30 年 7 月

7月に入りました。



早いもので、もう7月…。教職大学院に入学して、3ヶ月が経ちました。第1タームでの授業等を通して、日々の授業では「主体的・対話的で深い学び」を実感し、「自分の課題は何か」改めてこれまでの実践を振り返り、考えることでした。

また、高度化実践実習Ⅰにおいては、附属小中学校での個別の実習も始まりました。授業参観では、久しぶりに子供たちと触れ合い、つかの間の学校気分（「やっぱり、子供たちと一緒に学習できるのっていいなあ」）を味わっています。これから授業や実習を通して、それぞれの課題の探究を進めていくことになります。課題はそれぞれですが、院生同士、学び合い高め合いながら（時には楽しみも🍷）充実した時間にしていきたいと思えます。



「授業研究の実践と課題」（「学校研究分野」選択科目）

授業での学びを生かしてデザインした授業研究会を行いました。遠隔授業（ICT活用）の授業研究を行い、授業者を始め、本科目を受講していない院生や先生方に参加していただきました。これまでの授業研究での課題を出し合い、どうすれば「何か得るものがある授業研究会」となるかを追究するための授業研究会。実施して、うまくいったこと、改善すべきことなど参加者からの感想（意見）を基に振り返り、学校現場で実践していくために考えていかなければならない新たな課題について気付くことができました。

「人口減少社会でのICT活用の役割」（「指導法深化分野」選択科目）

人口減少社会での教育課題の解決に向けたICT活用として、テレビ会議システム等を使った、遠隔地における授業や研究等における指導法について省察・取得する科目です。三島小・中学校とのテレビ会議システムを活用した院生による遠隔授業実習や鹿児島大学附属小学校との交流授業なども行われました。小規模校における教育課題解決の一つとして、その指導法を学び、探究していきます。



様々な授業を通して、教職に関する専門的知見を得ると共に、演習や協議等を通して理解を深めていきます。今の自分に必要な実践的指導力を身に付けられるよう、教職大学院において探究的に学んでいきます。



開発実践実習Ⅰ

「学校サポート・プロジェクト」の3つのグループに分かれての実習。それぞれのグループの実習内容について報告します。



『校務・校内研修充実サポート・プロジェクト』

4校の小学校の職員研修に参加し、実習を行っています。実際に、授業研究や職員研修での協議等にも参加しています。「どのように工夫していけば校内研修が活性化するか」「研修主任等の役割や校内研修の企画・運営等」について学んでいます。

『学びづくりサポート・プロジェクト』

2校の校内研究に関わり、その研究がどのように深まっていくのかを探究しています。今年度は国語科と道徳科について、研究授業や授業研究会を通して、各校の研究の深まりを身近に感じることができています。

『小中一貫教育サポート・プロジェクト』

県内の小中一貫教育に取り組んでいる学校における、9年間を見通した教育課程の編成、そのための小中連携さらには地域との連携のあり方等について実習を通して学んでいきます。